

学会事故調 最終報告書(ドラフト)説明会資料へのコメントについてお礼

9月初めに発表した学会事故調の最終報告書(ドラフト)説明会資料に、多くの方々からコメントをいただき感謝いたします。

いただいたコメントが多いため、個々のコメントに回答することはご容赦願うことといたしますが、最終報告書作成にあたって参考にさせていただきたいと思います。

今後、以下のような対応を考えておりますので、ご参考としていただければ幸いです。

海外にも英文化した資料を公表して広く意見を求め、最終報告書に反映したいと考えております。また多くの方に理解いただけるように、わかり易い要約版の作成も検討したいと考えております。

最終報告書の内容は、現在ほぼまとまっておりますが、いただいたコメント、意見を反映するとともに、500ページ程度にコンパクト化し、来年早々には発刊したいと考えております。ここに収まり切らない内容は、参考資料として学会のホームページに掲載し、活用できるようにする予定です。

また最終報告書の内容は、政府や原子力関係機関に説明し、活用いただけるように働きかけていく予定です。

学会の活動にご理解いただき、今後ともご協力をいただけますようお願いいたします。

2013年10月1日

東京電力福島第一原子力発電所事故に関する調査委員会
(学会事故調)

委員長 田中 知